I·O DATA

B-MANU200490-01



DVR-UW8DP

取扱説明書

この度は「DVR-UW8DP」(以下、本製品と呼びます。)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に「本書」をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願い致します。

- ●本製品では、市販のDVDビデオなど、コピープロテクトのかかったメディアはコピーできません。
- ●DVD/CDのコピーを行う際は、コピーするDVD/CDの使用許諾条件に従ってください。
- ●DVD/CDのコピーを行う際は、著作権法で定められた範囲を逸脱しないよう十分ご注意ください。

INDEX

製品仕様	1
準備しよう	3
単体で使う	5
PCで使う	9
Q&A	14
その他	17

製品仕様

動作環境の確認

PC使用時	対応機種※1	USB 2.0※2(USB 1.1※3)ポートを搭載したDOS/Vパソコン (弊社製USBインターフェイスを搭載したパソコンを含む)
	対応OS	Windows XP※4、2000 Professional、Me※5
	搭載CPU	PentiumIII 450MHz以上
	メモリー	128Mバイト以上
	ハードディスク	空き容量 200Mバイト以上(イメージファイル作成時には最大8.5Gバイトの空き容量が必要)
対応メディア※6		●DVD:DVD+R※7、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW、DVD-RAM※8、DVD-ROM ●CD :CD-R、CD-RW、CD-ROM

推奨メディア※9	メディア速度	書き込み速度	メーカー名
1層DVD+R	16倍速	8倍速	日立マクセル、三菱化学、リコー
	8倍速	8倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学、リコー
	4倍速	4倍速	太陽誘電、TDK、日立マクセル、リコー
2層DVD+R	2.4倍速	2.4倍速	TDK、日立マクセル、三菱化学、リコー
DVD+RW	4倍速	4倍速	リコー
1層DVD-R※10	16倍速	8倍速	太陽誘電、TDK、日立マクセル、三菱化学
	8倍速	8倍速	太陽誘電、日立マクセル
	4倍速	4倍速	太陽誘電、日立マクセル
DVD-RW※10	6倍速	4倍速	ビクター、三菱化学
	4倍速	4倍速	TDK、ビクター
DVD-RAM※11	5倍速	5倍速	日立マクセル
	3倍速	3倍速	Panasonic
CD-R	太陽誘電、三菱化学		
CD-RW	三菱化学		

⚠注意⚠

●DVD+R/+RW/-R/-RWメディアで作成したDVD-ROM・DVDビデオは、既存のDVD-ROMドライブ、DVDプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。

●上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

※2 ●USB 2.0環境はパソコン本体標準で搭載されているUSB 2.0環境で、ご利用のOSに対応したドライバがインストールされている必要があります。(Microsoft社製USB 2.0ドライバ推奨)増設USB 2.0インターフェイスをご利用の場合は弊社製USB 2.0インターフェイスでのみ確認を行っております。
●弊社製USB 2.0インターフェイスをお使いの場合には最新のサポートソフトを当社ホームページよりダウンロードしてお使いください。

※3 ●USB 1.1ポートに装備した場合には、USB 1.1機器として動作します。
●USB 1.1環境で書き込みまたは読み込みをおこなう場合、DVDでは最大0.9倍速、CDでは最大8倍速となります。
●USB 1.1環境でDVDビデオを再生する場合、十分な転送速度が得られないためコマ落ちまたは音飛びが発生します。(頻度はビデオタイトルによって異なります。)

※4 ●「B's CLiP」をご利用になる場合は、Service Pack 1以降がインストールされた環境が必要です。

※5 ●以下の場合、Windows XP/2000 Professionalが必要です。
→「B's Recorder GOLD8 Security」で暗号化したDVDの暗号を解除する。

※6 ●12cmメディアのみ対応しております。
●DVD・CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※7 ●2層DVD+Rメディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
●2層DVD+Rメディアに「B's CLiP」にて書き込みを行った場合、他のドライブでは読み込むことはできません。

※8 ●カートリッジから取り出し不可能なメディア(TYPE I)および2.6Gバイト/面のメディアには対応しておりません。
●デュプリケータモード時は対応しておりません。

※9 ●推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※10 ●「B's Recorder GOLD8 Security」にてコピー禁止機能付きDVDを作成する場合には、推奨メディア欄にてご案内しておりますメーカー製のCPRM対応DVD-R/RW for VIDEOメディアをご利用ください。

※11 ●2倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

製品仕様

ドライブ名	DV-W28SL(OEM供給元:ティアック株式会社)
インターフェイス仕様	USB 2.0(USB 1.1)
設置条件	設置方向:水平、垂直
ディスクローディング方式	スロットイン
データバッファサイズ	2Mバイト
書き込みエラー回避機能	搭載

最大書き込み/読み込み速度	DVD	1層+R	2層+R	+RW	1層-R	-RW	RAM	ROM
	書き込み	×8	×2.4	×4	×8	×4	×5	–
	読み込み	×8	×4	×4	×8	×4	×5	×8(1層/2層)
	C D	-R	-RW	ROM				
	書き込み	×24	×16	–				
	読み込み	×24	×20	×24				

適合フォーマット	●DVD:DVD-ROM、DVD-Video ●C D:CD-ROM Mode1、CD-ROM Mode2(form1、form2)、Video CD、CD-DA、CD-Extra、CD-I、Video CD、CD-TEXT、PhotoCD

平均アクセスタイム	●DVD-ROM:190ms ●CD-ROM:180ms
書き込み方法	●DVD+R :Sequential write ●DVD+RW :Random write ●DVD-R/-RW :Disc at Once、Incremental、Restricted Overwrite※ ●DVD-RAM :Random write、Sequential write ●CD-R/RW :Disc at Once、Session at Once、Track at Once、Packet Writing ※DVD-RWのみ
電源仕様	AC 100V±10%、50/60Hz
定格電流	5V:1.5A、12V:1.5A
動作温度	+5~+35℃(パソコンの動作する温度範囲であること)
動作湿度	20%~80%(結露なきこと)
外形寸法	162(W)×240(D)×48(H)mm(突起部分を除く)
質量	約1.5kg (ACアダプターを除く)

デュプリケータモード/コピーメディア対応表

DVDメディア

※コピー元メディアはディスクアットワンスで書き込まれたメディアに限ります。
（ディスクアットワンスの確認方法については下記をご覧ください。）

		コピー先メディア				
コピー元メディア		1層DVD+R	2層DVD+R	DVD+RW	1層DVD-R	DVD-RW
1層DVD+R		●	−	●	●	●
2層DVD+R		−	●	−	−	−
DVD+RW		●	−	●	●	●
1層DVD-R		●	−	●	●	●
DVD-RW		●	−	●	●	●
DVD-ROM	1層	●	−	●	●	●
	2層	−	●	−	−	−

⚠ 注 意 ⚠

- ●市販のDVDビデオなど、コピープロテクトのかかったDVDメディアはコピーできません。
- ●DVD↔CD間のコピーはできません。

CDメディア

※コピー元メディアがディスククローズされている場合には、マルチセッションでもコピーが可能です。

	コピー先メディア	
コピー元メディア	CD-R	CD-RW
CD-R	●	●
CD-RW	●	●
CD-ROM	●	●

⚠ 注 意 ⚠

- ●コピープロテクトのかかったCDメディアはコピーできません。
- ●コピー元メディアが700Mバイトタイプの CD-R/RWメディアの場合、コピー先メディアには700Mバイトタイプの CD-R/RWメディアをご使用ください。

※コピー先のDVD/CDメディアは、データの書き込まれていないメディア(ブランクメディア)に限ります。

ディスクアットワンスの確認方法

手順.1

本製品をPCモードに設定して、パソコンに接続します。
（接続方法についてはP.9をご覧ください。）

手順.2

1. デスクトップ上にあるアイコンをダブルクリックし B's Recorder GOLD8 Securityを起動します。

   （B's Recorder GOLD8 Security インストール方法については、P.12をご覧ください。）



2. 画面上部の[メディア]ボタンをクリックします。



手順.3

確認したいメディアをドライブに挿入し、以下の表示があれば、そのメディアはディスクアットワンスで書き込まれたメディアです。

- ●「このメディアに書き込みはできません。」
- ●「セッション数：1」※

※DVD-R/-RWの場合は「ボータ数」、DVD+R/+RW、CD-R/RWの場合は「セッション数」と表示されます。



ディスクアットワンスとは？

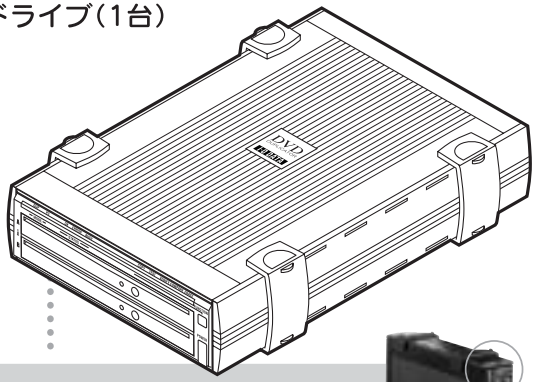
メディアに対し追記不可能な設定でデータを一度に書き込む方法です。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

内容物を確認する

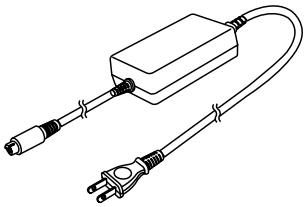
□ ドライブ(1台)



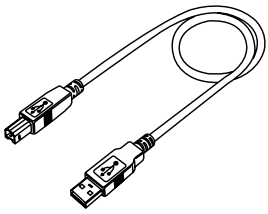
縦置き時のご注意
●電源スイッチが上にくるように設置してください。
●本製品は必ず水平な場所に設置してください。



□ ACアダプター(1個)



□ USBケーブル(1本)※



□ DVDツールズコレクション(CD-ROM/1枚)※
☑ DVR-UW8DP取扱説明書(本書/1枚)

※PCモード時のみ使用します。

シリアル番号を(S/N)メモします

↓ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

シリアル番号(S/N)は本製品底面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。(例:A0A0000000XX)
シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。

ソフトウェアのダウンロード
http://www.iodata.jp/lib/

ユーザー登録
http://www.iodata.jp/regist/

※ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

各部の名称

ドライブ前面

ファンクション

※FUNCTIONスイッチ

押すごとにファンクション(機能)を切り替えます。

COPY	TEST	COPY TEST	VERIFY	COMPARE	ERASE
DVD/CDに記録されたデータを別のメディアにコピーします。	実際にコピーを行わずに、コピーテストを行います。	コピーのテストを行った後、実際にコピーを行います。	メディアにデータが正常に書き込まれているかチェックします。	コピー元とコピー先のメディアに書かれているデータを比較し、データが同一であることを確認します。	リライタブルメディアに書き込まれているデータを高速消去します。

モード

MODEランプ

現在選択しているモードを表示します。

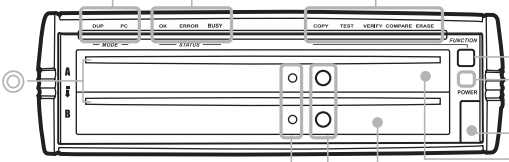
ステータス

STATUSランプ

デュプリケータモード時の動作を表示します。

FUNCTIONランプ

FUNCTIONボタンを押して選択した機能を表示します。



※

POWERランプ

電源ON時に点灯します。

電源スイッチ

ドライブ(A)

ドライブ(B)

◎メディア挿入口

◎

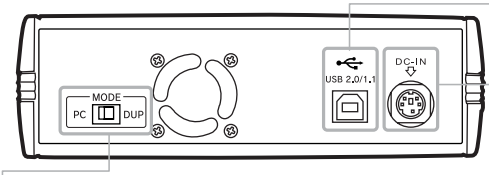
アクセスランプ

読み書き・イジェクト時に点灯/点滅します。

イジェクトボタン

押すとメディアを排出します。

ドライブ背面



USBコネクター

PCモードで使用する際に添付のUSBケーブルを接続します。

電源コネクター

添付のACアダプターを接続します。

MODEスイッチ

2つのモードを切り替えます。

●PCモード[PC]
パソコンと接続して2台のDVDドライブとして使います。

↔

●デュプリケータモード[DUP]
製品単体でDVD/CDメディアのコピーなどを行います。

注 意

- ●アクセスランプ点滅中は電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消去する恐れがあります。
- ●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
- ●本製品は水平な場所に設置してください。
- ●メディアを出し入れするときは、本体のPOWERランプが点灯していること(電源が入っている状態)を確認してください。
- ●メディアに異物が付いていないことを十分ご確認の上、入れてください。異物が付いたままメディアを入れると故障の原因になります。
- ●8cmメディアは使用しないでください。(12cmメディアのみ対応)

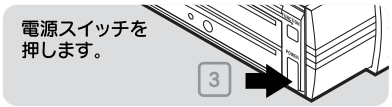
デュプリケータモードで使う準備をする

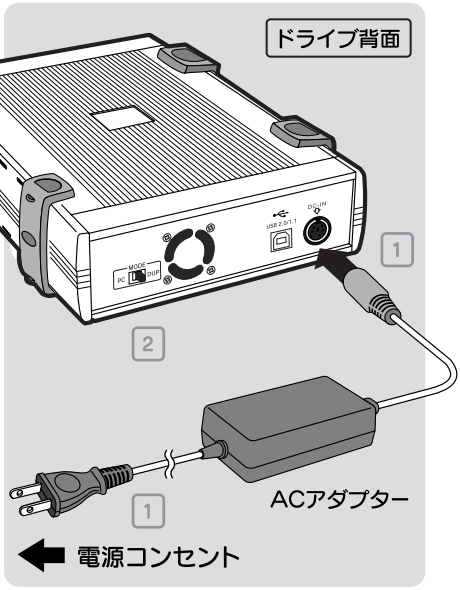
1 添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。

2 背面のMODEスイッチを[DUP]にします。

注意 MODEスイッチを切り替える際は、必ず電源をOFFにしてください。

3 電源を入れます。(下図参照)
※MODEランプで[DUP]が点灯していることを確認してください。





データをコピーする COPY

DVD/CDに記録されたデータを別のメディアにコピーします。

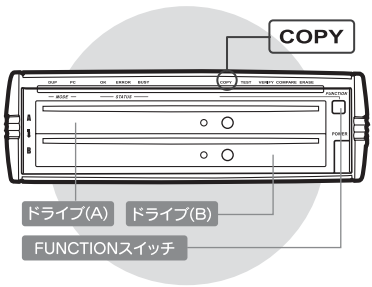
1 FUNCTIONスイッチを操作して、[COPY]に設定します。
(電源ON直後は自動的に[COPY]に設定されます。)

2 ドライブ(A)にコピー元のメディアを挿入します。

3 ドライブ(B)にコピー先のメディアを挿入します。

4 ピッピッピッピッピッと電子音が5回鳴った後、STATUSランプのBUSYが点滅し、自動的にコピーが始まります。

5 コピーが終了すると、STATUSランプのOKが点灯するとともにピーッと電子音が鳴り、ドライブ(B)のメディアが排出されます。



6 連続してコピーを行う場合は手順3へ、終了する場合はドライブ(A)のイジェクトボタンを押してメディアを取り出します。

7 以上でコピーが完了しました。
作業途中でエラーが起こった場合は、P.14のQ&Aをご覧ください。

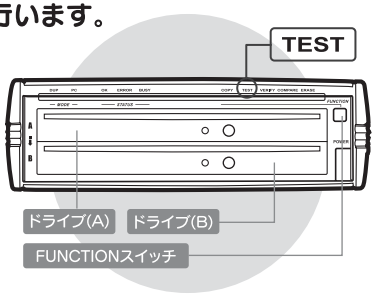
注意
- ●コピー先のメディアに書き込み済みのDVD±RW、CD-RWを使用した場合、既に書き込まれているデータは消去されます。必要な場合にはあらかじめバックアップをお取りください。
- ●DVDメディアのコピーを行う場合は、コピー元メディアはディスクアットワンスで書き込まれたメディアに限ります。(ディスクアットワンスの確認方法についてはP.2をお読みください)

コピーのテストを行う　TEST

実際にコピーを行わずに、コピーのテストを行います。

(あらかじめコピーができるか確認をする際に使用します。)

1. FUNCTIONスイッチを操作して、[TEST]に設定します。
2. ドライブ(A)にコピー元のメディアを挿入します。
3. ドライブ(B)にコピー先のメディアを挿入します。
4. ピッピッピッピッピッと電子音が5回鳴った後、STATUSランプのBUSYが点滅し、コピーのテストが始まります。
5. テストが終了すると、STATUSランプのOKが点灯するとともにピーッと電子音が鳴り、ドライブ(B)のメディアが排出されます。



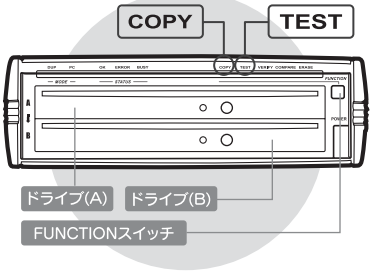
6. ドライブ(A)のイジェクトボタンを押してメディアを取り出します。
7. 以上でテストが完了しました。
作業途中でエラーが起こった場合は、P.14のQ&Aをご覧ください。

注意
- 本作業では、コピー先のメディアに1層/2層DVD+Rメディアはお使いいただけません。
- コピー先のメディアにDVD±RW、CD-RWを使用した場合、既に書き込まれているデータは消去されます。必要な場合にはあらかじめバックアップをお取りください。

テストの後に続けてコピーを行う　COPY/TEST

コピーのテストを行った後、実際にコピーを行います。

1. FUNCTIONスイッチを操作して、[COPY]と[TEST]に設定します。
2. ドライブ(A)にコピー元のメディアを挿入します。
3. ドライブ(B)にコピー先のメディアを挿入します。
4. ピッピッピッピッピッと電子音が5回鳴った後、STATUSランプのBUSYが点滅し、コピーテストが始まります。テストが完了すると、引き続きコピーが始まります。
5. コピーが終了すると、STATUSランプのOKが点灯するとともにピーッと電子音が鳴り、ドライブ(B)のメディアが排出されます。



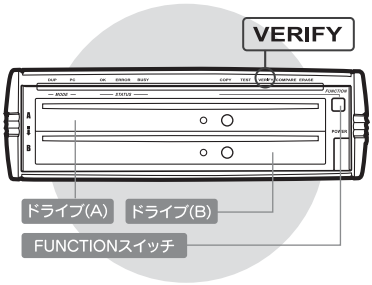
6. ドライブ(A)のイジェクトボタンを押してメディアを取り出します。
7. 以上でコピーが完了しました。
作業途中でエラーが起こった場合は、P.14のQ&Aをご覧ください。

注意
- 本作業では、コピー先のメディアに1層/2層DVD+Rメディアはお使いいただけません。
- コピー先のメディアに書き込み済みのDVD±RW、CD-RWを使用した場合、既に書き込まれているデータは消去されます。必要な場合にはあらかじめバックアップをお取りください。

書き込んだメディアをチェックする VERIFY

メディアにデータが正常に書き込まれているかチェックします。

1. FUNCTIONスイッチを操作して、[VERIFY]に設定します。
2. ドライブ(A)にコピーを行ったコピー元のメディアを挿入します。
3. ドライブ(B)にコピーを行ったコピー先のメディアを挿入します。
4. ピッピッピッピッピッと電子音が5回鳴った後、STATUSランプのBUSYが点滅し、メディアのチェックが始まります。
5. チェックが終了すると、STATUSランプのOKが点灯するとともにピーッと電子音が鳴り、ドライブ(B)のメディアが排出されます。



6. ドライブ(A)のイジェクトボタンを押してメディアを取り出します。
7. 以上でチェックが完了しました。
作業途中でエラーが起こった場合は、P.14のQ&Aをご覧ください。

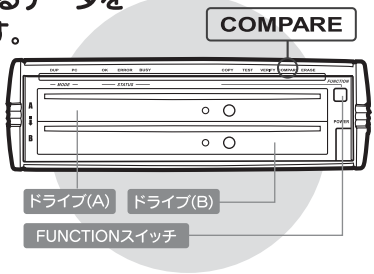
POINT ベリファイとコンペアの違いについて

ベリファイではメディアに書き込まれているデータが正常に読み出せるかをチェックします。コンペアではさらにコピー元メディアとデータを照合しますので、より厳密なチェックを行うことができます。コンペアではベリファイよりも所要時間が長くなります。

書き込んだデータを比較する COMPARE

コピー元とコピー先のメディアに書かれているデータを比較し、データが同一であることを確認します。

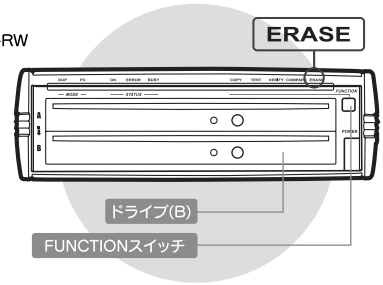
1. FUNCTIONスイッチを操作して、[COMPARE]に設定します。
2. ドライブ(A)にコピーを行ったコピー元のメディアを挿入します。
3. ドライブ(B)にコピーを行ったコピー先のメディアを挿入します。
4. ピッピッピッピッピッと電子音が5回鳴った後、STATUSランプのBUSYが点滅し、データの比較が始まります。
5. 比較が終了すると、STATUSランプのOKが点灯するとともにピーッと電子音が鳴り、ドライブ(B)のメディアが排出されます。



6. ドライブ(A)のイジェクトボタンを押してメディアを取り出します。
7. 以上でデータの比較が完了しました。
作業途中でエラーが起こった場合は、P.14のQ&Aをご覧ください。

リライタブルメディアのデータを消去する　ERASE

リライタブルメディア※に書き込まれている データを高速消去します。 ※DVD+RW、DVD-RW、CD-RW



1. FUNCTIONスイッチを操作して、[ERASE]に設定します。
2. ドライブ(B)にデータを消去するメディアを挿入します。
3. ピッピッピッピッピッと電子音が5回鳴った後、STATUSランプのBUSYが点滅し、メディアの消去が始まります。
4. 消去が終了すると、STATUSランプのOKが点灯するとともにメディアが排出されます。※電子音は鳴りません。
5. 以上でデータの消去が完了しました。作業途中でエラーが起こった場合は、P.14のQ&Aをご覧ください。

注　意

●メディアに書き込まれているデータは消去されます。必要な場合にはあらかじめバックアップをお取りください。

POINT

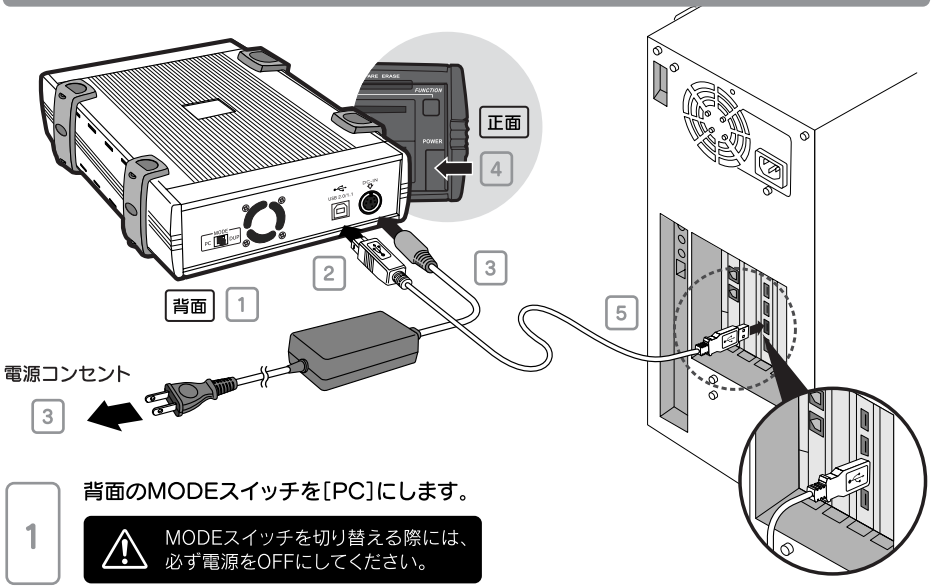
コピー時間の目安について

DVD(4.2Gバイト)、CD(630Mバイト)をコピーした場合のコピー所要時間は以下の通りです。

DVD	最短約15分	CD	最短約7分

※コピー元/コピー先メディアの種類や品質によっては、所要時間が長くなる場合があります。

デュプリケータ本体をパソコンに接続する



1 背面のMODEスイッチを[PC]にします。

⚠ MODEスイッチを切り替える際には、必ず電源をOFFにしてください。

2 本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。

3 添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。

4 電源を入れます。

※MODEランプで[PC]が点灯していることを確認してください。

5 添付のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続します。

本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません、

⚠ 注意 本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

正常に使用できるかを確認する

パソコンを起動して[マイコンピュータ]を開き、CD-ROMのアイコンが2つ追加されていることを確認します。アイコンが2つ追加されていれば、本製品をご使用いただけます。



↑（画面例：Windows XP）

アイコンの追加を確認

※（ドライブ文字（番号））は環境によって異なります。

Windows XP以外の場合



左記のアイコンが2つ追加されていることを確認します。

⚠ 注意

Windows 2000/Meでお使いの場合

DVD-RAMドライバーのインストール後は、リムーバブルディスクアイコンが2つ追加されます。DVD-RAMを使用するときは、このアイコンを使います。



（DVD-RAMドライバーのインストールについては、P.12の[用途に応じてソフトをインストールする]参照）

こんなときには

アイコンが追加されていない場合

P.15 [PCモード]パソコン接続時の問題 の[Q1]をご参照ください。

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合

[キャンセル]ボタンをクリックし、ケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

取り外し手順について

本製品をパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。（画面例：Windows XP）

手順.1

タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

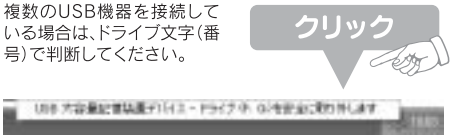
表示されるアイコンはOSによって異なります。



手順.2

本製品の表示をクリックします。

複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字（番号）で判断してください。



手順.3

メッセージを確認します。

（Windows 2000、Meの場合は[OK]をクリックします。）



手順.4

パソコンのUSBポートから、本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。

こんなときには

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

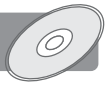
使用しているソフトウェアをすべて終了してから、本手順をおこなってください。

※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

その他ご注意

- ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。
- 一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- 本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。
- 本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

用途に応じて添付ソフトウェアを選ぶ



B's Recorder GOLD8 Security

データライティングソフト

通常のデータCD/DVD作成に加えて、暗号化CD/DVDを作成することもできます。

※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。

B's CLiP

パケットライトソフト

DVD+RW/-RWやCD-RWにドラッグ&ドロップ操作でデータを書き込むことができます。

※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。

Adobe Reader

PDF文書ファイル閲覧ソフト

各ソフトに付属しているPDF形式の文書ファイルを読む際に使用します。

DVD-RAMドライバー

DVD-RAMにデータを読み書きする際にインストールしてください。

オンラインマニュアル

本書をPDFファイルとして収録しております。

I-O DATA

見張っトレイ

トレイコントロールユーティリティ

パソコンシャットダウン時にメディアの出し忘れを防ぐユーティリティソフトです。

※本製品にはDVDオーサリングソフトおよびDVDプレーヤーソフトは添付しておりません。

B's Recorder GOLD + B's CLiPの使用する際のご注意

●省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。

●マルチセッション・マルチボーダー(セッション単位でデータを追記することです。)記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される"使用領域"では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。

●2層DVD+Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

●2層DVD+Rメディアに「B's CLiP」で書き込みを行った場合、他のドライブで読み込むことはできません。

●一度でも書き込みに失敗したDVD+R/-R/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗したDVD+RW/-RW/CD-RWメディアは「B's Recorder GOLD」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。

●いったん「B's Recorder GOLD」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD」と本製品を使用してください。
また、いったん「B's CLiP」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's CLiP」と本製品を使用してください。

●一度「B's CLiP」でフォーマットしたDVD±RW、CD-RWメディアを再フォーマットする場合は、「B's Recorder GOLD」や「B's Erase」でいったん標準消去してから、「B's CLiP」で再フォーマットしてください。

●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。

●エラー回避機能のチェックを外さないでください。(ドライブによって機能の名称が異なります。)《B's Recorder GOLDの場合》「環境設定」→「ドライブ設定」→「高度なドライブ設定」で、"転送速度エラー回避機能"をONにしてください。

※エラー回避機能が常時ONになっているドライブでは、「高度なドライブ設定」のボタンは表示されません。

用途に応じてソフトをインストールする

手順.1 ••▶ **手順.2** ••▶ **手順.3**

添付のCD-ROMをDVDドライブに挿入します。



メニューが表示されたら[インストール]をクリックします。

インストールしたいソフトをクリックします。

手順.4 ◀•• **完了**

表示に従ってインストールを進めます。

インストールが完了します。（再起動が必要な場合があります。）

こんなときには

インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。

●他のCD/DVDドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意「B's Recorder GOLD」が対応していないCD/DVDドライブ※の場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。

※㈱ビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。

●音楽データを書き込んだCD-R/RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。

●Windows 2000でお使いの場合には、ドライブのデジタルCD再生を無効にしてください。

●HDDバックアップ機能について。
バックアップしたメディアを使用してHDDを元に戻すときは、本製品以外のMS-DOSで認識可能なDVD/CDドライブが必要です。

●本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のライティングソフトメーカーにお問い合わせください。

●「B's Recorder GOLD8 Security」や「B's CLiP」を使用して2枚のメディアへ同時に書き込むことはできません。

DVD-RAMドライバーを使用する際のご注意

DVD-RAMドライバーを使用して2枚のメディアへ同時に書き込むことはできません。

参考 シリアル番号/CD-Key

B's Recorder GOLD8 Security

B's CLiP6

オンラインマニュアルを活用しよう

各ソフトの使用方法について記述しております。各ソフトのオンラインマニュアルをご覧ください。
（オンラインマニュアルは主にPDF形式で収録されております。）

B's Recorder GOLD8 Security / B's CLiP / DVD-RAMドライバー

のオンラインマニュアルを活用する

[スタート]メニューの[B.H.A]または
[DVD-RAM]に登録されます。

困ったときには

① ソフトウェアのQ&Aを確認する

② ホームページでサポート情報を見る
http://help.bha.co.jp/

それでも解決しなかったら

サポートに問い合わせる

(株)ビー・エイチ・エー テクニカル
サポートセンター

TEL: 06-4861-8234

[受付時間] 10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日(祝日などビー・エイチ・エー社の休業日を除く)
※お問い合わせの際はビー・エイチ・エー社へのユーザー登録が必要です。

http://www.bha.co.jp/

※E-Mailは上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

DVDドライブ本体 見張っトレイ

のオンラインマニュアルを活用する

[スタート]メニューの[I-O DATA]に
登録されます。

困ったときには

① P.14[Q&A]を確認する

② ホームページでサポート情報を見る

製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/

最新サポートソフト
http://www.iodata.jp/lib/

それでも解決しなかったら

サポートに問い合わせる

(株)アイ・オー・データ機器サポートセンター

TEL：東京　03-3254-1095
TEL：金沢　076-260-3688
FAX：東京　03-3254-9055
FAX：金沢　076-260-3360

[受付時間] 09:30～19:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

[デュプリケータモード]時の問題

Q1.COPY/TEST動作時にエラーが発生する。（電子音と共にSTATUSランプのERRORが点灯する）

A1
【考えられる原因】コピー元/コピー先メディアとして、対応していない組み合わせのメディアを挿入した。
（例、ドライブ(A)にCDメディア、ドライブ(B)にDVD-Rメディアを挿入した。）
【　解決方法　】本製品の対応したコピー元/コピー先メディアを挿入してご使用ください。
（P.2[デュプリケータモード/コピーメディア対応表]参照）

A2
【考えられる原因】コピー元メディアが読み込めない。
【　解決方法　】コピー元メディアの品質が良くない可能性があります。再度コピー元メディアを作成してご使用ください。

A3
【考えられる原因】コピー先メディアに推奨メディア以外のメディアを使用している。
【　解決方法　】P.1もしくは弊社ホームページにて本製品の推奨メディアをご確認ください。

Q2.VERIFY/COMPARE動作時にエラーが発生する。（電子音と共にSTATUSランプのERRORが点灯する）

A1
【考えられる原因】メディアへ正常にデータが書き込まれていない。
【　解決方法　】推奨メディアをご利用の上、再度作業を行ってください。(P.1[推奨メディア]欄参照)

A2
【考えられる原因】ドライブ(A)にコピー元メディアとは別のメディアが挿入されている。
【　解決方法　】ドライブ(A)にコピー元として使用したメディアを挿入してください。

Q3.ERASE機能選択時にドライブ(B)にメディアを挿入しても反応しない。

A1
【考えられる原因】2層DVD+R/1層DVD±R/CD-Rメディアをドライブ(B)に挿入した。
【　解決方法　】ERASE機能ではDVD±RW/CD-RWメディアのみ消去できます。

Q4.いずれかのモードにおいてメディアを挿入しても反応しない。

A1
【考えられる原因】本製品に対応していないメディアを挿入した。
【　解決方法　】本製品に対応したコピー元/コピー先メディアを挿入してご使用ください。
（P.2[デュプリケータモード/コピーメディア対応表]参照）

A2
【考えられる原因】ドライブ(A)にデータが書き込まれていないメディアを挿入した。
【　解決方法　】ドライブ(A)にデータが書き込まれたメディアを挿入してください。

Q5.動作が完了しても電子音が鳴らない。

A1
以下の動作完了時には電子音は鳴りません。
● ERASE機能でDVD±RW/CD-RWメディアのデータを消去する

次ページへつづく

[PCモード]パソコン接続時の問題

Q1.パソコンに接続してもマイコンピュータにDVDドライブのアイコンが表示されない。

A1 P.9[PCモードで使う(接続手順)]を参照し、USBケーブル、電源ケーブルの接続、接触を再確認してください。
USBハブを使用している場合は、直接パソコンのUSBポートへ接続し直して下さい。

A2 デバイスマネージャを開き、以下の手順で誤認識されているドライバを削除し、接続し直してください。

1. [マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ](⇒[ハードウェア])⇒[デバイスマネージャ]の順にクリックします。
2. [DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックし、本製品が認識されているかどうかを確認します。

[!]や[?]マークがついている場合

① [!]や[?]マークがついているドライブ名(本製品)を右クリックし、表示されたメニューから[削除]ボタンをクリックします。
あとは画面の指示に従って削除します。
② 本製品のUSBケーブルをパソコンから抜き挿しします。
③ デバイスマネージャで本製品が正常に認識されていることを確認してください。

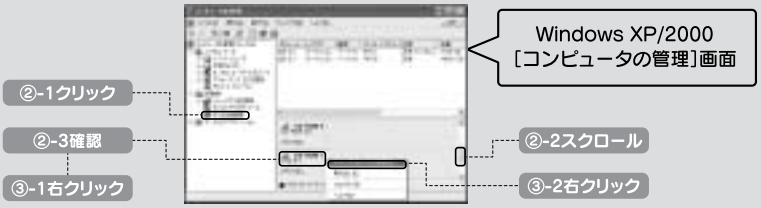
本製品のドライブ名が表示されていない場合

① デバイスマネージャ内に[?その他のデバイス]が表示されていないか確認してください。
② [?その他のデバイス]がある場合は、一旦本製品のUSBケーブルをパソコンから抜きます。
③ [?その他のデバイス]の表示が消えた場合は、再度USBケーブルをパソコンに挿します。
④ [?その他のデバイス]をダブルクリックし、その下に表示されたデバイス名(例[USB Device])を右クリックし、表示されたメニューから[削除]をクリックします。あとは画面の指示に従って削除します。
⑤ 本製品のUSBケーブルをパソコンから抜き挿しします。
⑥ デバイスマネージャで本製品が正常に認識されていることを確認してください。

A3 ドライブ文字(番号)を変更してみてください。
(他のドライブ文字(番号)と重なり表示されていない場合があります。)

Windows XP/2000の場合

① [マイコンピュータ]を右クリックして表示されたメニューから[管理]をクリックします。
② [ディスクの管理]をクリックし、右下の画面をスクロールし、DVDドライブの認識があるかを確認してください。
※既存のドライブがある場合はその後に本製品が表示されます。
③ 本製品を右クリックし、[ドライブ文字とパスの変更]をクリックします。
④ [変更](または[編集])をクリックします。
⑤ [ドライブ文字(番号)を他の機器と重ならないように選択し、[OK]をクリックします。
⑥ [マイコンピュータ]を開き、設定したドライブ文字(番号)が表示されているかどうかを確認してください。



Windows Meの場合

① [マイコンピュータ]を右クリックして表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。
② [デバイスマネージャ]タブで[CD-ROM]をダブルクリックし、本製品を選択して[プロパティ]ボタンをクリックします。
③ [設定]タブ⇒[予約ドライブ文字]でドライブ文字(番号)を他の機器と重ならないように予約してください。
④ [OK]をクリックします。

Q2.B's Recorder GOLDをインストール後、マイコンピュータに本製品のアイコンが表示されなくなった。

A1 ビー・エイチ・エー社へお問い合わせください。

[PCモード]メディア読み書き時の問題

Q1.音楽CD、DVDビデオやデータ等が書き込まれたDVD/CDメディアが開けない。

A1 ライティングソフトが複数インストールされている場合は、本製品添付ソフト以外のライティングソフトを全てアンインストールして下さい。(アンインストール方法はソフトメーカー又は、パソコンに標準で組み込まれている場合にはパソコンメーカーにお問い合わせください。)

Q2.マイコンピュータで本製品のアイコンをダブルクリックすると「アクセスできません」や「ファンクションが間違っています」と表示される。

A1 データが書き込まれていないメディアをセットしている場合は、このようなメッセージが表示されます。

Q3.「メディアをセットしてください」または「ディスクが空でないか、ドライブにディスクが挿入されていません」と表示され、書き込めない。

A1 マイコンピュータで本製品が認識されているかどうか確認してください。認識していない場合はP.15「【PCモード】パソコン接続時の問題」→[Q1]の対処を確認してください。

A2 ライティングソフトを起動し、書き込みドライブに本製品が設定されているかどうかを確認してください。

A3 ライティングソフトが複数インストールされている場合は、本製品添付ソフト以外のライティングソフトを全てアンインストールして下さい。アンインストール方法はソフトメーカー又は、パソコンに標準で組み込まれている場合にはパソコンメーカーにお問い合わせください。

A4 推奨メディアを使用してください。(P.1[動作環境の確認]内[推奨メディア]欄参照)

Q4.ライティングソフトで書き込み中にエラーが発生したり、書き込みが正常に終了しない。また、希望の書き込み速度に設定できない。

A1 ライティングソフトが複数インストールされている場合は、本製品添付ソフト以外のライティングソフトを全てアンインストールして下さい。アンインストール方法はソフトメーカー又は、パソコンに標準で組み込まれている場合にはパソコンメーカーにお問い合わせください。

A2 P.1[動作環境の確認]を参照し、動作環境に合うようにパソコン環境をアップグレードしてください。

A3 推奨メディアを使用してください。(P.1[動作環境の確認]内[推奨メディア]欄参照)

A4 USB 1.1接続の場合、USB 2.0に接続してください。また、USBハブに接続している場合は取り外し、パソコンのUSB 2.0ポートに直接接続してください。

Q5.2台のドライブに挿入したDVD-RAMメディアへ同時に書き込み/読み込みを行うことができない。

A1 2枚のDVD-RAMメディアへ同時に書き込み/読み込みを行うことはできません。
1枚ずつ操作を行ってください、

Q6.B's CLiPで2台のドライブに挿入したDVD/CDメディアへ同時に書き込み/読み込みを行うことができない。

A1 B's CLiPを使用して2枚のメディアへ同時に書き込み/読み込みを行うことはできません。
1枚ずつ操作を行ってください、

Q7.2台のドライブを同時に使用した場合、書き込み/読み込みの速度が遅くなる。

A1 ご使用状況によっては、2台のドライブへの書き込み/読み込み速度が著しく遅くなる場合があります。
このような場合には、1台ずつ順に使用してください。

修理について

1.依頼前に確認すること

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

修理金額について

●保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

●保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

●お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。)修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

2.修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号(製品に貼付されたシールに記載されています)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

これらをご用意ください

●必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書(コピー不可)
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

●下の内容を書いたもの
返送先[住所/氏名/(あれば)FAX番号]、日中にご連絡できるお電話番号、ご使用環境(機器構成、OSなど)、故障状況(どうなったか)

修理品を梱包してください

●上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

●輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

修理をご依頼ください

● 修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。
送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
● 送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先
〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社　アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

3.修理品の返送

修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

使用上のご注意

著作権について

この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を得ている素材を制作する手段としてのものです。もしあなた自身が著作権を所有していない場合か、著作権保有者から複製許諾を得ていない場合は、著作権法の侵害となり、損害賠償を含む補償義務を負うことがあります。御自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

本製品のライティングソフトウェアについて

●本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。
●書き込みに失敗したメディアの保証はいたしておりません。
●DVD+RW/-RW、CD-RWメディアの消去（初期化）は書き込みを行ったライティングソフトウェアを使用してください。

地域コード（リージョンコード）について

本製品は、日本の地域コードである「2」に設定されています。ソフトウェアDVDプレイヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。

商標について

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。 ●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
●Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/

2006.2.17.©2006 I-O DATA DEVICE,INC. All Rights Reserved.

本製品および本書は著作権法により保護されておりますので無断で複写、複製、改変することは禁じられています。